

ウェッジ式アンカー

認証取得者	ユニカ株式会社	
所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-10-6	
連絡先	TEL03-3864-8711 FAX03-3864-7746	
商品名	ビッグワンBGLタイプ	
部品の材質	スチール	
認証種類	タイプ C	
認証番号	第19-0007-1号	
認証有効期間	2019年9月1日～2024年8月31日	

認証内容

構成部品	項目1	部品の形状・寸法・許容差	形状	2.5項 図1による。
			寸法・許容差	記載なき場合は評価認証基準の規格値を満たす。
製品	項目2	部品の材質	本体：JIS S35C 相当	ウェッジ：JIS SPCC 相当
	項目5	ねじ・外観・表面処理	ねじ等級：8g 表面処理：電気亜鉛めっき光沢クロム処理又は3価クロム処理(膜厚5μm以上)	
	項目7	ドリル径、穿孔深さ及び施工方法	ドリル径は下表による。穿孔深さ、施工方法は認証取得者の施工要領書等による。	
	項目8	製品の降伏点・引張強さ	本体降伏点：416.9N/mm <sup>2</sup> 本体引張り強さ：763.5N/mm <sup>2</sup>	
	項目10	母材の種別	普通コンクリート	
	項目11	母材の設計基準強度の範囲	18N/mm <sup>2</sup> ～36N/mm <sup>2</sup>	
	項目12	引張耐力	<p>コーン破壊したアンカーの引張耐力が、式(1)の計算値に対して95%以上の信頼性を有することを確認している。</p> $T_{mc} = 0.31 \sqrt{\sigma_B} \cdot A_c \quad (1)$ <p>ここで、  <math>T_{mc}</math>：式(1)による引張耐力計算値(N)  <math>\sigma_B</math>：試験体(母材)のコンクリートの圧縮強度(N/mm<sup>2</sup>)  <math>A_c</math>：コーン状破壊面の有効水平投影面積(mm<sup>2</sup>)で、式(2)による。  <math>A_c = \pi \cdot l_e (l_e + D) \quad (2)</math>  <math>l_e</math>：あと施工アンカーの有効埋込み深さ(mm)で、式(3)による。  <math>l_e = L - D \quad (3)</math>  <math>L</math>：あと施工アンカーの埋込み長さ(mm)  <math>D</math>：あと施工アンカーの外径(mm)</p>	
	項目14	せん断耐力	<p>母材コンクリートの支圧破壊したアンカーのせん断耐力については式(4)、アンカー本体がせん断破壊したアンカーのせん断耐力については式(5)の計算値に対して95%以上の信頼性を有することを確認している。</p> $Q_{nc} = 0.3 \sqrt{E_c \sigma_B} \cdot s_a e_e, \text{ただし、} 500 \leq \sqrt{E_c \sigma_B} \leq 900 \text{ (N/mm}^2) \quad (4)$ $Q_{nw} = ({}_m\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s_a e_e \quad (5)$ <p>ここで、  <math>Q_{nc}</math>：母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値(N)  <math>E_c</math>：試験体(母材)のコンクリートのヤング係数(N/mm<sup>2</sup>)  <math>\sigma_B</math>：試験体(母材)のコンクリートの圧縮強度(N/mm<sup>2</sup>)  <math>s_a e_e</math>：アンカーの最小断面積(mm<sup>2</sup>)  <math>Q_{nw}</math>：あと施工アンカーのアンカー本体のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値(N)  <math>{}_m\sigma_u</math>：アンカー部品の素材の規格引張強さ又は保証引張強さ(mm<sup>2</sup>)</p>	

[注] 項目12以降はそれぞれの算定式を用いて計算する。(2.0項 評価認証内容を参照)

認証取得者による本体の申請値

品番	呼び	外径(D) (mm)	ドリル径 (mm)		全長(L1) (mm)	ねじ長さ(S) (mm)	埋込深さ(L) (mm)	最小断面積または 破断面断面積(sae) (N/mm <sup>2</sup> )	規格降伏点(σ <sub>y</sub> ) (N/mm <sup>2</sup> ) (規格値又は試験結果より求めた)	材料強度(σ <sub>u</sub> ) (N/mm <sup>2</sup> ) (400 N/mm <sup>2</sup> 以上を基準とし、超えるものは400 N/mm <sup>2</sup> とした)
			径	許容差						
BGL-3070M	M10	10±0.2	10	+0.3	70±1	26.5	42	58.0	416.9	400
BGL-4080M	M12	12±0.2	12	+0.3	80±1	29.0	50	84.3	416.9	400